

水産増養殖における 国際共同研究の現状と展望

はじめに

農林水産省熱帯農業研究センターが改組されて国際農林水産業研究センターの発足に伴い水産部が新設された。水産部の研究展開を円滑、かつ実りのあるものにするためには、水産分野における途上国への技術援助、国際共同研究の現状を正確に把握し、それらの情報を分析整理し今後の研究に資することが重要である。そのため、産・官・学によるこれらの諸活動と研究情報の解析・検討の場を設けることは大変意義深いと考えられた。そこで、今回は共同研究のニーズが最も多いと思われる増養殖分野に課題をしぼって研究会を企画し、平成6年1月13日（木）に平成5年度第1回国際農業専門分野別研究会として開催された。

本報告書は、皆様の御発表内容の速記録を編集したもので、示唆にとむ内容は国際農林水産業研究センターにおける水産分野の国際共同研究を推進する上での指針として極めて有益と考えられる。

なお、講演要旨の英訳については水産部の **Dr. Marcy Nicole Wilder**、編集作業等については同じく樋口康子さんに負うところが多い。記して感謝の意を表する。

農林水産省 国際農林水産業研究センター

水産部長 福 所 邦 彦